

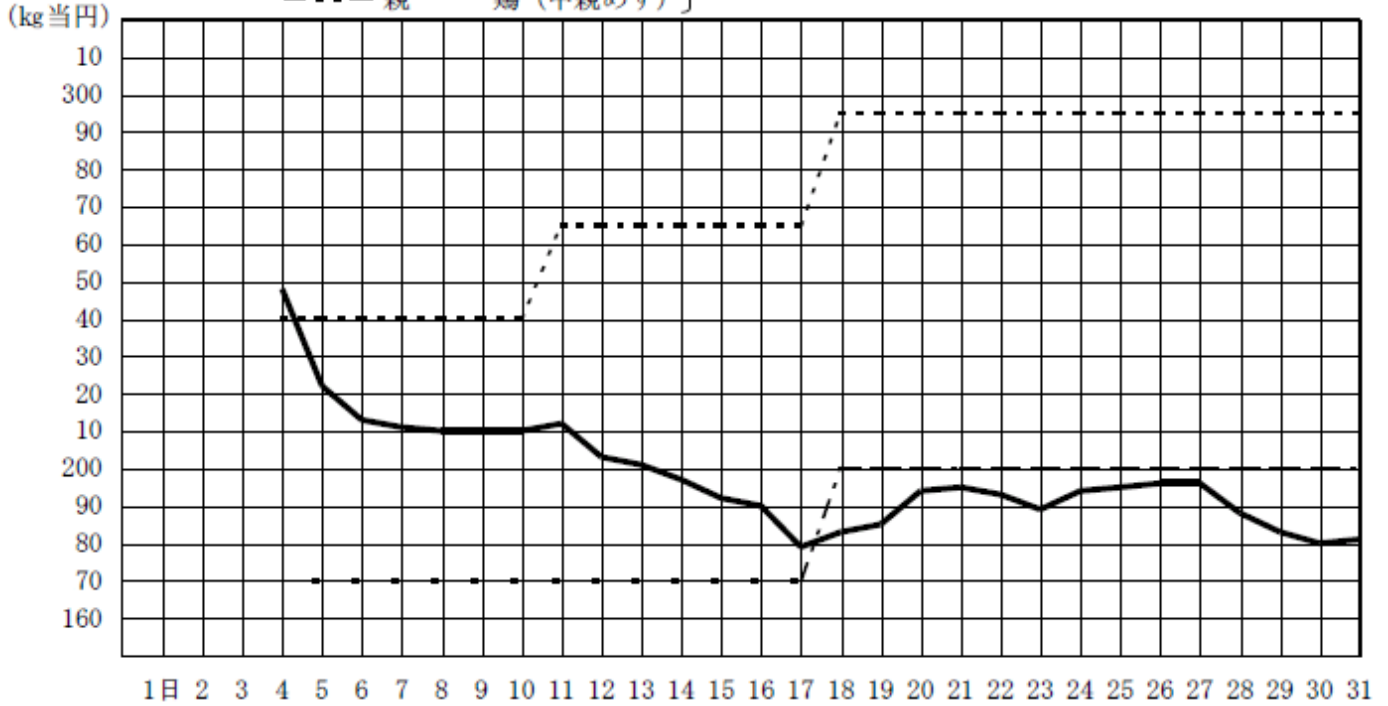
# 経済市況

## 鶏卵食鳥市況月報

(35年1月)

—大阪経済事務所—

——— 卵 1級品標準仕入 (大阪中央市場)  
 ..... プロイラー (中びな) } 高値 ( " )  
 - - - 親 鶏 (中親めす) }



平均 価格 (kg 当)			
	35年1月		34年1月
卵	198円		183円
プロイラー	273		228
親 鶏	185		136
阪神地区 入荷推定数量			
	卵	プロイラー	親 鶏
岡 山	800,000kg	6,000羽	35,000羽
香 川	700,000	28,000	63,000
大 阪	1,170,000	45,000	100,000
そ の 他	1,260,000	70,000	150,000
計	3,930,000	149,000	348,000
共 同 出 荷 実 績			
	卵	プロイラー	親 鶏
経 済 連	432,000kg	羽	羽
西 大 寺	8,000		
美 作	25,000		
養 鶏 加 工 連		3,000	
計	465,000	3,000	

卵

正月明けによる需要の減少と暖冬による産卵の上昇で入荷が多いことで1月半ばまで殆んど一本調子で相場を下げ、一時はkg180円を割るところまで来たがその後の冷え込みによる産卵の減退で、入荷が減少して来たため持ち直し、2月に入ってからは180~190円の間で相場が動いている。最近香港より相当量の受注があったことと2月に入ってマヨネーズ向需要が本格化したこと等から当分は下げ相場はみられず180~190円の線で落ち着いた相場となる。

本年のマヨネーズ生産計画は、昨年2~3割増といわれ、現在の買付量は昨年同期の実績量と同じであるが、3~4月の卵価低落時期に大量買付を行う模様

で、昨年の計画買付とは様相を異にしている。マヨネーズ会社の見解では卵価の安い時に大量買付を行えば卵価安の防止策となるから、この買付方式の方が生産者にも良いだろうとのことである。

正月以来ない物高を続けていた

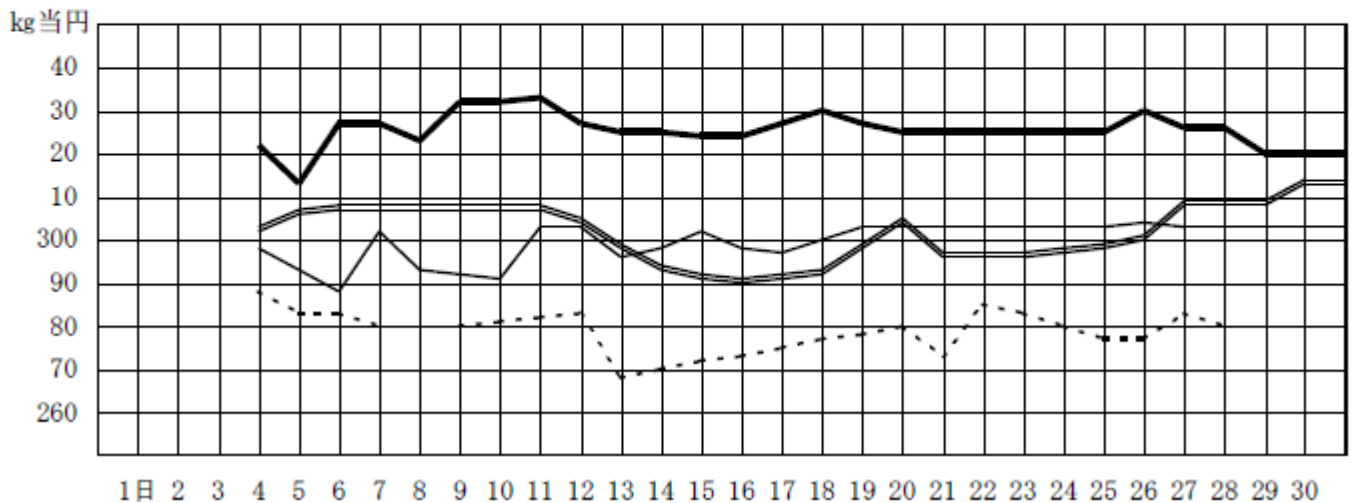
食鳥

は1月半ばには若鶏の中びなでkg295円親鳥の中親めすで200円と言う近年にない相場高を現出した。昨年の春から夏にかけて若鶏がありあまって大暴落した半年前とは全く対照的である。2月に入ってからはやや入荷が増えて来たのと売行が芳しくないことから240円と55円方下げて来た。親鳥は依然として200円の線を維持している。

肉 畜 市 況 月 報

(35年1月) ー大阪経済事務所ー

〓 め す } 中 値 (大阪食肉卸売市場)  
 〓 ぬ き }  
 〓 お す }  
 〓 豚 }



中 物 平 均 価 格			
		35年1月	34年1月
め	す	325円	297円
ぬ	き	296	262
お	す	279	241
豚		303	204
と 畜 頭 数 (大阪市と場)			
牛		4,022	馬 76
仔	牛	491	め ん 羊 5
豚		6,281	

## 岡山畜産便り1960.03

1月の入荷は今年の12月より

スとなろう。

## 牛

において約2,000頭、豚は約3,300頭の減少であったが、正月明けと暖冬による需要減で相場は一般に軟調で弱保合い商状であった。

## 豚

豚はkg10円方値を上げた程度で2月に入った。しかしながら最近豚脂の値下り（殆んど半値）によって脂身の多い豚は取引に際して普通ものより格段の価格差がついて来たのが目立つ。

第1回岡山県枝肉共進会は各方面の注目を浴びて、1月29日、30日の両日大阪市食肉卸売市場において開催されたが、その際せり売された枝肉は最高kg469円最低kg314円で、平均価格kg352円と言う高値で取引され、岡山県の肉牛に対する認識を関係各方面に一変さす効果を十二分に果たした。今後の取引に大きなプラ